和光市都市計画マスタープラン　（骨格）

令和3年12月9日
第４回検討市民委員会
資料２-３

まちづくりの視点

●新型コロナ危機を契機に生じた変化
（都市機能、都市交通、オープンスペース、データ・デジタル技術など）
●頻発・激甚化する自然災害への対応
（都市再生特別措置法の一部改正：安全で魅力的なまちづくりの推進）
●本計画の将来都市像
「心和み、光り輝くまち　ふるさと和光」の実現
●SDGsを意識した取組み
（レジリエントで持続可能な都市基盤の構築など）
●市民意向調査
（市民生活の目標像実現にあたっての基礎調査）

基本理念

より安心、より快適なまちづくり
～みどり豊かで暮らしやすいまちを求めて～

将来都市像

心和み、光り輝くまち　ふるさと和光

まちづくりの課題

土地利用	■和光市駅を中心とした都市機能の集積と駅周辺の利便性向上 ■和光北インターチェンジ周辺における地域産業の振興、地域活力の向上 ■長期未着手土地区画整理事業におけるまちづくりの推進
道路・交通体系	■都市計画道路の未整備路線における整備推進 ■超高齢社会に対応した安全で快適な道路環境の確保 ■コンパクトなまちづくりと連携した地域公共交通の充実、総合的な交通体系の確立
公園・緑地・環境	■市内の農地や斜面林、湧水など自然環境の積極的な保全 ■都市内に残る貴重な農地の積極的な利活用
都市防災	■地域ごとに災害リスクに対応した土地利用計画の検討 ■市民協働による総合的な防災・減災まちづくりの推進
生活環境	■公共下水道未整備区域における、計画的な施設の更新 ■生活関連施設の維持、多様なニーズに対応した利活用方策の検討 ■空き家の適正管理、発生予防と利活用方策の検討
都市景観形成	■市民、事業者及び市の協働によりまちの特色や地域の個性を生かし、市民の愛着や誇りを育む良好な景観の形成・保全

まちづくりの目標

安全・安心	誰もがそれぞれのライフステージで充実した生活を送れるよう、住み慣れた地域で暮らし続けられる安全・安心なまちづくり
生活	和光市に住んでよかったと思えるよう、快適な生活が送れるとともに、健康で、働き続けることができるまちづくり
移動	運転免許証を返納した高齢者などの交通弱者をはじめ、全ての市民にとって移動の自由が確保されるまちづくり
経済	和光北インターチェンジ周辺において、交通利便性を生かした産業拠点の創出によって、地域の活性化および持続可能な都市活動につながるまちづくり
デジタル技術	デジタル化の急速な進展を踏まえた都市サービスの提供など、魅力やにぎわいのあふれる和光市を次世代につなぐ、社会変化に即したまちづくり

まちづくり方針

分野別都市づくり方針

地域別構想

まちづくり戦略

戦略１
安全・安心に住み続けられる

戦略２
地域コミュニティで支え合う快適な生活

戦略３
社会変化に即し、移動の自由が確保される

戦略４
産業・交流などによる地域の活性化